



2018年 8月 8日

関節リウマチ治療薬バイオ後続品の販売提携契約を締結

帝人株式会社
株式会社陽進堂
Y Lバイオロジクス株式会社

帝人株式会社(本社：大阪市北区、社長：鈴木 純)と株式会社陽進堂(本社：富山県富山市、社長：北村 博樹)、および Y Lバイオロジクス株式会社(本社：東京都中央区、社長：日比野 俊彦)は、このたび、関節リウマチ治療薬「エタネルセプト」のバイオ後続品(開発コード：Y L B 1 1 3)の販売提携契約を締結しました。

「Y L B 1 1 3」は、日本で約半数を収集した、500例を超える関節リウマチの患者さんを対象とした第Ⅲ相国際共同治験の結果をもとに、今年3月、Y Lバイオロジクスが独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に製造販売承認申請を行い、受理されています。そして、本剤はインドの医薬品メーカーであるルピン・リミテッドが製造する原薬をもとに、陽進堂の100%子会社であるエイワイファーマ株式会社の日本国内の工場で製剤化されます。

帝人グループでヘルスケア事業の中核を担う帝人ファーマ株式会社(本社：東京都千代田区、社長：鍋島 昭久)は、このたびの販売提携契約により、本剤の製造販売承認を取得した後、陽進堂とともに販売活動を展開する予定です。「骨・関節領域」を医薬品事業の注力領域の1つとしている帝人ファーマは、本剤をこの領域の製品ラインナップに加えることで、関節リウマチの患者さんのさらなるQOL向上に貢献していきたいと考えています。

陽進堂は、原薬から製剤まで、一貫した研究開発・製造・販売の確かな体制を整え、高品質で低価格のジェネリック医薬品を製造するメーカーとして、大きな信頼を得てきました。現在、輸液・透析などのエッセンシャルドラッグやバイオ医薬品の研究・開発を進め、「なくてはならない製薬企業」を目指し果敢に挑戦していきます。

Y Lバイオロジクスは、今後も医療ニーズの高いバイオ後続品を取り上げ、豊富なノウハウを駆使して効率的に開発を進め、高い品質・信頼性と医療経済性を兼ね備えた製品を日本のみならず、世界中の医療現場に安定的に届けたいと願っています。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社	コーポレートコミュニケーション部	TEL：(03) 3506-4055
株式会社陽進堂	バイオ医薬営業部	TEL：(03) 6667-5881
Y Lバイオロジクス株式会社	事業開発・渉外部	TEL：(03) 6667-5900